

一般社団法人 日本応用地質学会

令和7年度・2025 年度

第4回国際委員会・IAEG JAPAN 運営委員会 議事録

日 時：2025 年 11 月 17 日(月) 15:00～17:30

場 所：日本応用地質学会 事務局、Zoom を用いた Web 会議(併用)

出席者：長谷川委員長、菊地副委員長、加地委員、小泉委員、外山委員、水野委員、山田幹事

委任状提出：鎌田委員、昆委員、崎田委員、野々村委員、濱田委員、百嶋委員、百瀬委員、山崎委員

陪席：茶石顧問

議事：

1. 前回議事録(案)の確認

- ・前回(2025 年 9 月)に開催した委員会の議事録(案)を了承した。
- ・JSEG ポスターについては、ARC15(2025、ネパール)で掲示できるよう準備を進める。
- ・IAEG 2025 Council Meeting 参加レポートについて、学会誌2月号への掲載に向けて準備を進める。

2. 理事会報告

- ・前回理事会(R7_第 7 回)の議事録の内容について説明がなされた。

3. IAEG JAPAN 運営委員会活動について

(1) IAEG 事務連絡

1) ARC16 関連(2027.11.24～26、泉佐野市:エブノ泉の森ホール)

- ・開催実行特別委員会での検討状況について説明がなされた。
- ・PR 動画の確認を行った。最終版データの納品受領後に Ranjan 氏へデータ提供した上で、ARC15(アジア地域会議、懇親会、閉会式など)で流してもらうように依頼する予定。特に閉会式では、IAEG NG 代表を始めとする Japan NG 関係者を登壇させてもらえるように調整する。
- ・フライヤーを 200 部、ARC15 に持参して配布する予定。今後は内容を一部更新した上で増刷し、2026 年開催イベント(JSEG シンポジウム&研究発表会、IAEG Congress など)で配布する。
- ・IAEG 理事会＆総会は、ARC16 に合わせて日本で開催する方向で調整を進める。まずは理事会及び ARC16 実行特別委員会で JSEG 内の合意を得たうえで、正式文書を IAEG 事務局に提出し、IAEG Midyear Meeting (2026 年 5 月頃にニュージーランドで開催予定)で承認してもらう形とする。

2) ARC15 関連(2025.11.27～29、ネパール、カトマンズ)

- ・海外調査団の検討状況について説明がなされた。現時点で大会プログラム入手できていないため、改めて Ranjan 氏へ確認する。現地滞在中の情報共有手段(オープンチャット)を準備する。
- ・調査団団長は IAEG NG 代表に依頼する。調査団の懇親会について、現地滞在期間中(第一候補:11/26)に開催する方向で調整する。
- ・調査団報告書の目次＆執筆担当者案について説明がなされた。調査団懇親会において、報告書印刷製本の希望を確認した上で、希望者からは製本費用(2千円程度)を徴収しておく。
- ・若手参加者には、現地で開催予定の YEG イベント(11/28)にも出席してもらえるよう打診する。

3) 東アジア地域若手技術者交流会 関連

- ・東アジア地域若手技術者交流会@札幌の参加レポートについて説明がなされた。学会誌2月号への掲載に向けて準備を進める。
- ・参加レポートについては、IAEG Newsletter No.4 への投稿準備を進める。
- ・交流会の開催運営にあたっては、多くの課題が認識された(役割分担、事前広報など)。今後の国際イベント開催のためにも、今回の課題や反省点を整理して委員会内で共有を図る。なお、今後も交流会を継続して開催できるよう、参加各国(中韓台)との情報共有を図っていく。
- ・「東アジア」の言葉について、今後の公式イベント(3か国共同イベント等)では使い方に十分注意する。

4) 日韓台 3か国交流 関連

- ・台湾シンポジウム@台中の参加レポートについて説明がなされた。学会誌2月号への掲載に向けて準備を進める。
- ・次回開催国は日本となったため、2026 年研究発表会@長岡で共同セッションを開催する方向で調整を進める。

5) Ranjan 氏の来日について

- ・Ranjan 氏の来日スケジュールと来訪趣旨について説明がなされた。

6) WEG and YEG list の提出について

- ・提出リストについて説明がなされた。JSEG 会員で YEG メンバーの候補者(35 歳以下)について、国際会員加入と YEG 参加を打診する。

(2) その他

1) 国際委員の会費改訂について

- ・昨今の円安傾向を踏まえた会費改定案について説明がなされた。2026 年度から個人会費を4千円に変更することで、次回理事会に諮る。
- ・国際委員会としての活動費用(特に海外での IAEG 主催イベント参加など)について、田中基金から費用補助を得られるように理事会で審議してもらう。

2) 2026 年研究発表会～日韓台共同セッションの開催について

- ・共同セッションの開催案について説明がなされた。ワークショップは、研究発表会の1日目(2025 年 AEG 共同セッションと同様)に JSEG 共催の位置づけで開催することとし、研究発表会のスケジュールに影響が出ないように留意する。
- ・参加費:前例(韓国、台湾)に倣って無料とする。
- ・巡検:札幌開催時と同様、ワークショップ前日に実施する。(夜に懇親会を開催)
- ・本セッションの開催趣旨及び JSEG 会員(特に若手)にとってのメリットを明確にした上で、理事会及び事業企画委員会で開催の意向を伝える。

3) 学会誌 Bulletin 紹介

- ・次回以降の執筆担当者について、現時点で未執筆の委員に依頼する(委員会内の原稿作成期限は 3 か月前の月末まで)。

4) 海外シンポジウム

- ・現在、学会 HP に掲載中の情報について説明がなされた。適宜内容を最新情報に更新した上で(2026 IAEG Congress を追加)、JSEG_Homepage のトップページ及び学会 NL での周知を手配する。

4. ホームページ関係

(1) 英語版 HP

- ・HP 更新案及びコンテンツ案について説明がなされた。
- ・まずは必要最小限のコンテンツからスタートする。(トップページの写真を更新する、活動報告に国際イベント参加レポートもアップする、など)
- ・現行 HP の大々的な更新は不可能なため、新たに英語版 HP を立ち上げる方法について広報情報委員会で確認する。
- ・IAEG 情報(2016 年時点)の更新にあたって、当時の素材を前回担当者から提供していただく。
- ・引き続き、今後の掲載コンテンツの更新方針を検討する。

(2) 日本語版 HP

※特になし

5. その他

- ・次回委員会(令和 7 年度_第 5 回)は、令和 8 年 1 月に開催する方向で調整する。

以 上